太陽の墓場（1960）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
初公開日 1960/08/09

【解説】
大島渚が助監督の石堂淑朗とオリジナル脚本を書き、前作「青春残酷物語」からわずか2ヶ月で制作した、大阪のドヤ街で生きる人間たちを描いたドラマ。大阪でのロケーションが効果を上げている。
愚連隊信栄会の会長をつとめる信は、一帯を取り仕切る大浜組をおそれドヤ街を転々としていた。信栄会の会員ヤスは、信に内緒で日雇い労働者から採った血を売って小遣いを稼いでいる。ある日、ヤスは武と辰夫という二人の若者を信栄会に入れた。しかし信栄会の中で内紛が勃発、大浜組に自分を売り込もうとしたヤスは、信に殺されてしまう。

【クレジット】
監督 大島渚 Nagisa Oshima
製作 池田富雄
脚本 大島渚 Nagisa Oshima
撮影 川又昂
美術 宇野耕司
編集 浦岡敬一
音楽 真鍋理一郎
出演 炎加世子
津川雅彦
伴淳三郎
佐々木功
川津祐介

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.